

めだかの学校だより

平成14年2月1日
第35号
学舎：いなさ自然休養村
くつきくさ
事務局：引佐郡引佐町
東久留女木 472-111
TEL053-545-0381

校長訓話

風と土の人にまみれて

自分起こしのルネサンス

第三十五回校長 上嶋 裕志

…♪だれが生徒か先生か―と講師・生徒が回し入れ代わり学び合う学校は建学の心のもとに、平成5年の9月から始まりました。私も第2回からお世話になり用務員をやらせて頂きました。当時は生徒は80人程だったと思います。

私はもともと工業関係のサラリーマンで35才の時、会社人間の人生と違うもう一人の自分あってもいいなと会社を辞め、改めて学校に1年間静岡まで通学しました。

電車や映画館での学割が懐かしくも思い1日の休みもなく楽しく勉強させていただきました。会社時代では自分が開発した物でも会社の名で出ていきますが、今の自分の仕事ではデザインしたものの考えた物がビジュアル的に人々に評価さ

れ世間に出ていく喜びと楽しさを味わっています。

めだかの学校の事務局を当初バラさん達とやっていたときは学校だから校歌や校則があり遠足や文化祭・クラブ活動まで開催しました。また、阪神大震災のチャリティコンサートでは多くの募金が集まりました。入学はあっても卒業式がないめだかの学校は当初からの仲間もたくさん残っています。いろいろな人生に出会いお互いに刺激し、めだかの生徒がそれぞれの地域でリーダー的に活躍しているの姿がまぶしく希望と闘志が湧いて来ます。

実は細江町のイベントで「めだかの学校」から生まれたものがあります。めだ



かの生徒の豊岡村の鈴木正士さんから、

「町づくりフォーラムがあるから遊びに来て」と誘いがあり、行ってみると全国のまちづくりの事例発表があり、その中に滋賀県長浜市の観光協会のパネラー清水氏と交流会で話をするうち姫様道中の参加する人が少ない等、話の中で「長浜では10月の大園遊会きもの祭りに女性三千人が3日で集まりますヨ」一度見に来て下さいと紹介されました。華やかな着物の娘さんたちが町中溢れんばかりでこれを細江の町で出来たらと思っていた時、細江の商工会青年部と長浜でパッタリ会いました。以前、青年部にまちづくりのイベントの話をする機会があり長浜を紹介したところでした。清水さん達も浴衣でやろうと大イベントの「ゆかた祭り」が生まれたのです。

このほかに、歯の神様「光月神社」の歯ブラシや歯の供養祭・田沢の「へその緒観音の絆祭」・全国絵馬公募展・ゆかいな音楽仲間たち、いにしへの町づくりの会等いろいろ企画して今は舞阪町の特産品の開発をしています。

めだかの学校は公立でも私立でもなく「おもしろ人立(じんりつ)」で「自分起こし」の生涯学習です。もう一人の自分を発見出来る学校ではないでしょうか。

めだかの学校伝言板

—第35回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／上嶋裕志
教頭／八木正子
用務員／藤田吉恭
給食係／伊藤茂男・本島慎一郎・伊藤静男
村木謙弼・鈴木正士・伊藤公子
佐藤律子・藤田久枝・高木初美
渡辺三ツ子(チーフ)

<学舎>静岡県引佐郡引佐町奥山 1737-286
いなさ自然休養村「つきくさ」内
TEL 053-543-0321 (開校日のみ)

開校日／平成14年3月1日(金) 6:20PMより
受付／蜂須賀千賀子・佐藤和夫・内山ゆきゑ
服部守孝(後見人)

- <時間割>
- ・第一時限(20分)
理科「ユリにササヤキかけて…」
榊原 淑友 先生
 - ・第二時限(20分)
生活科「ふわふわガラガラすいすい…環境？」
本田 量子 先生
 - ・第三時限(20分)
社会科「愛を運んで生き生き…」
徳増 兼弘 先生
 - ・給食の時間 3月はひな祭り…楽しいね

や「遠州横須賀倶楽部」(鈴木武史)「車座の会」(中嶋豊)「サンクラフ」(本島慎一郎)など65団体が登録しています。鈴木武史と榊原幸雄の2匹のメダカは幹事です。

長野県天竜村神原に旧小学校を利 用した宿泊型フリースクールを4月 に開設

愛知県知立市の中野昌俊メダカは、長野県天竜村方向地区にある旧方向小学校を利用して、宿泊型フリースクールを開設する。天竜村の山村留学及び生涯学習事業の一環として実施するもので、運営は特定非営利活動法人「どんぐり方向塾」(申請中)が行う。不登校児童・生徒が13万人を越す時代、心に傷を負った子ども達の「癒しの場」が必要。実践あるのみ」と、天竜村役場と話し合うこと何度も。関子メダカより、開福盛さんがいれはこそ。今年4月より開校だが、初期の頃は小中学生が主体だが、体制を整えれば高校生、大学生及び社会人も受け入れる「癒しの場」とする予定。講師陣には地域のお年寄り及びその道の専門家。農業・モノ作りなどの体験と「読み書きそろばん」、「調べごと」を主体としたカリキュラム、「真心と思いやり」を基本とした「人との交わり」を実施していく予定です。

(パラメダカ)

浜松市・遠鉄百貨店ギャラリー で「第2回 人人展」

今年、私が一番楽しみにしている展覧会をします。それは鈴木真弓メダカ、浜松駅前の遠鉄百貨店ギャラリーロゼで、4月10日(水)〜4月15日(月)まで。創作人形とマクラメのコラボレーション会場をマクラメと人形を使って「シルクロード」の世界に。ドキドキワクワクしますね。6日間だけの空間ですが是非遊びに来て下さい。

(鈴木真弓メダカ)

「すみれの里・春野町」で、今年 も「すみれの道ゆき展」

春野町は「すみれの花の咲く頃」の白井鉄蔵さんの出身地、ならば「すみれ」で町お越しをはじめ。そんな中に「すみれ大好き人間」尾上美智子メダカがいました。今年も三月下旬から四月上旬にかけて「すみれの道ゆき展」を開きます。昨年はアトも含んで大きくやりましたが、今年は周囲に野の花やすみれをいっぱい植えて、私らしい「すみれ展」をやります。どうぞ、春野の山あいままで足を運んで下さい。

(尾上美智子メダカ)

北遠で「民の暮らしクロストロ ード」開催

静岡県北遠地域では、共同プロジェクトとして平成14年4月20・21日(土・日)に「民の暮らしクロストロード市INAKAX2002」を開催します。民の暮らしとは風土と身体にあつた生き方、暮らし方を、クロスロードは民の文化の交差点を指しています。またINAKAX(いなかつくす)は、山里(田舎)が交差(X)していることを意味しています。

具体的なプログラムは、山里の民の暮らしの知恵を活かしたライフスタイル展「森の知恵暮らし見本市」「天竜木オークション」春の農林水産物を満載した「農家の馳走直売市」山里の資源を活かした「ンチャー」に挑戦する産官学交流セミナー「古代ミステリー合宿会議」です。是非、三遠南信からも多くの中での泳ぎ回つてお待ちをります。この中で泳ぎ回つて待たれるのが、尾上美智子メダカ、清水瑛メダカ、耳塚信博メダカ、本島慎一郎メダカです。「民の文化の交差点。日本の元気に火を点ける」と、山里の暮らしの中にこそ二十一世紀を生きていくガニツクなライフスタイルがあることを確信し、古代の光通信が伝わる北遠地域の山里から、全国の山里を結んで提案して行こうというも

http://www.inakax.com
(INAKAX 広報団 本島慎一郎)

人・ひと・ヒト・・・だより

藤田潤吉・高森久枝メダカ。メダカが縁結び。12月26日に浜松五社神社で挙式。おめでとう。よかつたね。これで結婚相談所も繁盛だね。高森久枝メダカは藤田久枝メダカに。まだまだ呆らめないで独身メダカさん。

秋田県の奈良努メダカ。12年間つづいた鹿角市「まほろば塾」、今年の2月をもって運営委員会を解散。公民館主管の夜間の「鹿角学」に移行。長年の運営委員ご苦労さまでした。13年度の第一回は榊原幸雄メダカ。最終塾を飾るのは菅原欽一メダカ。これもご縁。

大東町の明石ふさ子メダカ。昨年も玄関の庭の木にアオバズクが訪れ、赤ちゃんと誕生。180度回る顔と黄色くてまん丸な目。4年目になるが、今年も訪れてくれるかしら。

森町の田邊哲メダカ。手打ち蕎麦教室・蕎麦料理・ちんどん講座・ふく料理・武田・徳川ウオーク合戦・浪曲と森の石松の復活を語る会などなど、今年も元気印。チンドンもつての富士登山は7月29日・30日です。

浜松市の柴田芳明メダカは、富塚の花屋さん。なんと50年高校生のころから一緒だったアゴの大きなコブがない。毎日遠赤外線をあてていたら脂肪分が溶けてふき出してごらんの通りとは。34回先生だった横田浩臣・堀田正子。堀田望の3メダカは、1月2日に降った雪景色に誘われて雪中散歩とシャレコンデ。この3人、名大教授と畜産農家。地域おこし塾を開いて活躍中。

富士市の佐野玲子メダカ。奈落の底から這い出して元気に。健康が一番。気持ち晴れ晴れしてきました。ムリせずにかまします。

富士川町の柚木恵美子メダカ。娘の出産で庵原新聞以外のことは手抜き。メダカにの学校も。今年少し働けそう。学舎に向かっても泳ぎます。

磐田市の山下正メダカ。コンサル会社に勤務。町の活性化と親御さんの介護と多忙。寸暇をみてバラ作り。どなたかお嫁さんを紹介して!。久枝さん、誰かい

ませんか。○おいおい俺たちだつてーとは、水窪町の石の工芸家、耳塚信博メダカと、森町役場職員村松達雄メダカ。やつとその気になつてきました。よろしくお願ひします。

天竜市の杉本浩メダカ。今年はおしのだ。駿馬の如く走るゾー。○浜松市の丸一物産社長古橋利雄メダカ。天馬が飛翔するようなウマイ話は夢の中だけ。駿馬のように「ゴツゴツ」と歩む所存。ほうねん座公演では駿馬の如く躍り回る。今年の仕掛は何ですか?とは。

浜松市の村木謙三メダカ。旅館花乃井のチーフ(支配人)辞して営業チーフ半分と、菊川町のばららん花にオルゴール工房を作つてピンコロン……。人生オルゴールの如く楽しいね。

岡部町の元メダカ小嶋睦雄大農学部教授。「教室ばかりの講義では意味がない」とトウホンセイソウああ忙しい!。反省しながら驕慢にならず、めげずに「自然」と「人」の「共生」を目指す。だから復学にはもう少し時間をください。○引佐町の吉田俊夫メダカ。中堅ゼネコンの東海地方の所長として厳しい時代を生きて抜くために多忙をきわめる。自分の間休学させて下さい。お身体にはご自愛を!

33回入校の葛西孝之メダカ。オーケストラの指揮者だが、浜松市のホンダで季節従業員として働いている。地元宮城県では友人と共に「モロ」北日本フィルハーモニー音楽協会を立ち上げる。2年前、日独楽友協会のオーケストラを指揮して雄踏町文化会館で、雄踏中オーケストラの子どもたちと公演会を開く。

「森は海の恋人」の牡蠣の森を慕う会代表島山重篤さんから年賀状が届く。静岡県でも何処かと聞く。山下正メダカともつながりが多いと聞く。8月の第16回全国交流研修会は宮城県。ゆつくり語りあいたいですね。

もつともつとたくさんの人を伝えたい。でも紙面の都合で今回はこの辺で。ごめんね。

(パラメダカ)

☆伊藤英雄メダカ。中日新聞1月13日付け朝刊「農林水産」面でカラーで掲載されています。10年前知人を通して紫芋を知り、切った時の色の美しさに魅せられて今日に至ります。皆さんご存知のように白ネギは名人、エビ芋はこだわり人、紫芋は恋人、シモン芋は健康配達人、性格はガンコ。あれ？これ新聞には出ていなかったけ？とにかく地域の特産にしようとか栽培から販路まで開拓する気分は65歳とは思えない。まさに元氣印である。

☆加茂光廣メダカ。先日某テレビ局で出演していたと思ったら、1月29日から2月10日までベトナムへ一人旅。中国とベトナムの国境地帯に住む少数民族の「うたかき」(愛を唄で語りかけ合う)を調査に。どうも「うたかき」は草苗でやるらしい。そんな予感を持って出掛けた。9月の授業の時のネパールの愛を歌で語るときの艶っぽさ。また聞けるかも。お土産を楽しみにしています。

☆所沢市の木村智子メダカ。ご主人の海外転勤にもない4月からシンガポールへ。ガーデニングプロデューサーの智子メダカ。実家のフラワーズセンターを拠点に始めて「英国のイエローブックス」の浜松版「浜松ガーデニング」をお互いの庭を訪ねながらテイタイム。新しいライフスタイルです。3月には浜松版イエローブックスを発行する予定です。2、3年で帰ってきます。ホームページはそのまま残し、シンガポールからガーデニング情報を載せます。お問合せは、E-mail: tomitom7@nifty.ne.jpです。または浜松・柴田芳明 053-471-1946へ。

☆三遠南信情報誌Ami(アミ)照井泰子メダカ発行人の会員同士の交流会が2月2日浜松市・天神蔵で。2月17日豊橋市・カリエオンビルで開催される。多くのメダカの生徒が、会員・応援・販売・執筆とボランティア精神でかかわっている。利益を度外視の思いで年4回発行している。内容も充実して会員も応援も増えつつあります。あいにくではございますが、交流会の申し込みは終わってしまいました。お赦しを！

◆メダカ春秋

「人は考えた通りの人間になる。」1月に4日間に渡って自己開発講座を泉自治研修所で受けた。ANA ADVENTURES IN ATTITUDES、日本での心のアドベンチャー」と名付けられた自分の心構えを探検するアメリカ生まれのプログラムである。

「人は考えた通りの人間になる」はこのプログラムの冒頭に出てくる言葉である。文字通り人間はその人の思考によって形づくられていく、という意味である。そうこのプログラムはその考えに目覚めさせることが目的なのである。管理された時間内で20に渡る単位が進んでいく。聴き上手になるには、心構えを変えれば人生が変わる。短所を長所に変えよう。長所を気づかせよう。自己宣言(自己受容、人間的成長、対人関係向上、個性の魅力度アップ、健康消極的な心構えの排除など)をし、自信を持って、人に好かれるには、問題解決のルール。やる気を起こす6段階。期待したことは実現する。それぞれの話題が用意され、それを読み上げグループで質問について意見を話し合い発表していく。グループの構成員もそのグループリーダーも単位ごとの中に変える。ここで教えられた数多くの中から一日の終わりに、明日是非ともやらなければならぬ重要なことを、6つだけ書きとめ、重要なものから順に番号をつける。次の日は最も重要なことに手をつける。最も重要なことから始めるのだから、6つ全て片付かなくても気にしないのである。

わずか4日間の研修であったが、初対面同士が心を開き親しくなり、皆の目がきらきら輝いているのに驚かされた。研修後の効果は？って、これまで何人かの師から教えられたことを体系的に学び直すことができ、更にまた新風が我が身に吹き込まれたようなすがすがしい気分である。何より心穏やかな自分を維持でき、人にいい影響を与えることができる。

◆事務局より

予感があるのである。(溝口 久メダカ)

「ウワー、雪だ！」。新年早々の雪景色。家の前の山が墨絵のよう。感動してしまった。雪国の人からは「バカモン！」なんて叱られるそう。ここ静岡では年数回しか積らない。お許しください。それにしても寒かった。かと思えば三月下旬の陽気になったりと、落ち着かない気候がどう？ふと「春はいつからいつなんだろう？」と思ったりしたら、新聞に「静かなブーム『旧暦カレンダー』」。という記事が載っていた。二〇〇二年の新春は二月十二日となっていた。それにしては、これも地球温暖化の影響なのだろうか。先日NHKのラジオで「富山など北陸地方の雪が少なくなった。大陸からの季節風の温度が高くなったのか、日本海の温度が低くなったのか。日本海側は季節風の端部分でちよとした変化で雪になったり雨になったりする。雪が少なくなると、貯水湖がなくなると同じことで飲料水や農業にも影響が出てくる。富山県や新潟県のおいしい米が食べられなくなる。ウーン、地球の温暖化温暖化と叫ばれていてもまだどこか遠くのところのような気がしているが、昨年の七月は雨が降らず、湯水で川から飲料水を取っている我が家では飲料水にも事欠き、リンデンパウムは休み、石野省三メダカと佐野蓉子メダカ、前嶋康一・恭代メダカさんにお世話になった。身に詰まされはじめた実感するものですね。

そんな訳からではないが、二〇〇二年の最初の授業は「環境にしよう！」と、職員会議で決める。環境といってもいろいろあるが、自分たちの身近なものを取り上げよう。自宅の裏山の笹百合に愛をそそぐ榊原淑友メダカ。子供たちによい環境を！と伝統的？なものになったワシをつくり水(綿織物)を使ってタワシをつくり水の浄化に取り組む本田量子メダカ。「高齢化という人間環境の変化に配膳などのボランティアとして取り



組む徳増兼弘メダカ。地道な活動を三四人のメダカを先生に選んで。楽しみである。

三四回のメダカの学校のとき「難しすぎて面白くなかった」という生徒からの不謹慎この上ない。先生と生徒の関係は先生が上なのである。自らの感性でせんせいを評価してはいけない。わかりましたね。二日後の十二月九日の特別教室「ほうねん座お祭りきやらばん」は、多くのメダカ生と多くのお客さん(義理の人も多かった)に支えられて感動の裡に終わることができました。ありがとうございました。「お客さんが少なかつたらどうしよう」「赤字になったら」「そんな思いも元氣印でやり切ってしまうました。人生前向き前向き。そんな気持ちの揺れを写真でまとめました。

●注11ほうねん座公演には、招待者も含んで七三〇人ほどの出席者がありました。収支は10万円ほど残りました。学校の運営費に入れておきます。

(事務局榊原幸雄メダカ)

※追伸 三五号も遅れてしまいました。生徒の皆さんごめんさい。

◆各地のたよりの掲載について 各地でいろいろ催事があると思えます。次回発行日は5月1日です。4月20日までに事務局へEメール又は浜松市村柳町浜名湖国際頭脳センター315、エヌビーネット照井泰子あて Eメール/hb@net.co.jp (TEL053・484・4133)

めだかの学校事務局 〒431-2533 1 静岡県引佐郡引佐町東久留岡木472 榊原幸雄 ※「つみくさ」は学舎のみです。すべての連絡・お問い合わせは「事務局」にお願いいたします。